

熊本市における路面電車の位置づけ、取り組み

熊本



熊本市 副市長

多野 春光

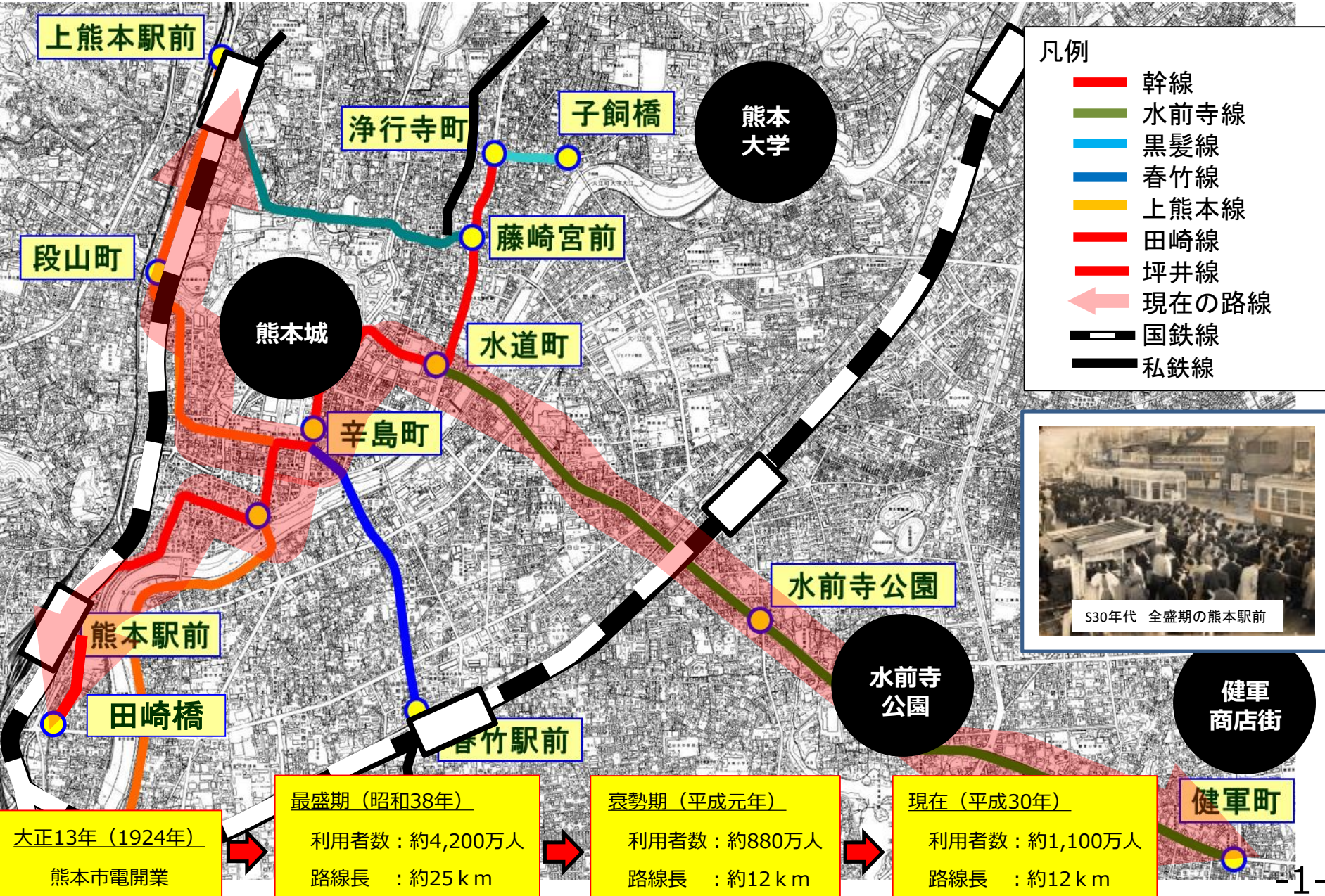
2019年11月8日

新しく生きよう。
NEO ONE
KUMAMOTO

目次

1. 熊本市電の沿革
2. 熊本市電に関する取組
3. 公共交通の充実
4. 熊本市電延伸の検討

1.熊本市電の沿革

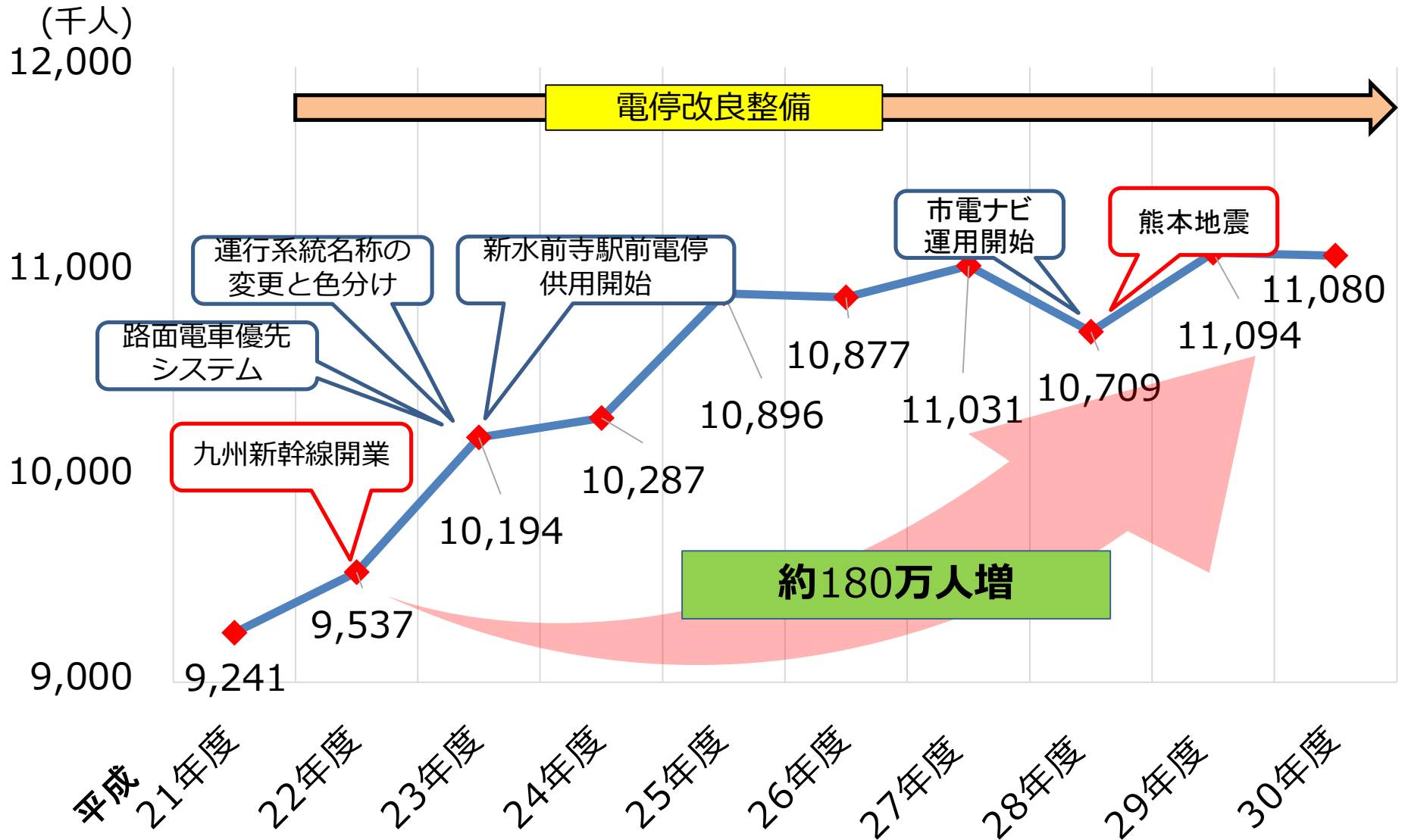


- 凡例
- 幹線
 - 水前寺線
 - 黒髪線
 - 春竹線
 - 上熊本線
 - 田崎線
 - 坪井線
 - ← 現在の路線
 - 国鉄線
 - 私鉄線



| | | | |
|------------------------|---|--|--|
| 大正13年（1924年） 熊本市電開業 | 最盛期（昭和38年） 利用者数：約4,200万人 路線長：約25 km | 衰勢期（平成元年） 利用者数：約880万人 路線長：約12 km | 現在（平成30年） 利用者数：約1,100万人 路線長：約12 km |
|------------------------|---|--|--|

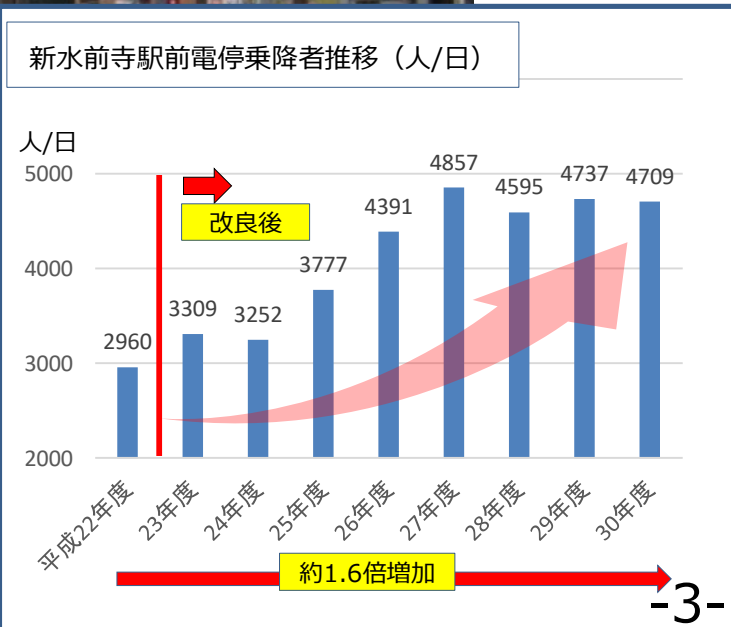
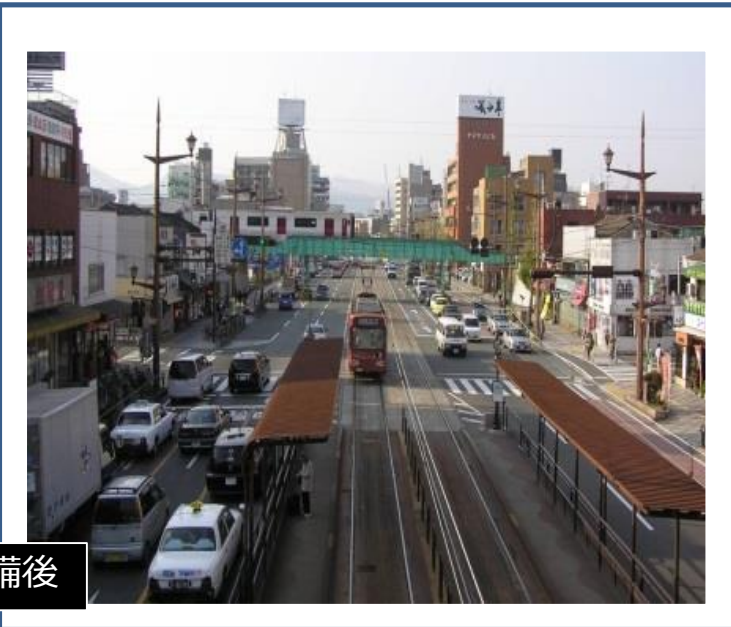
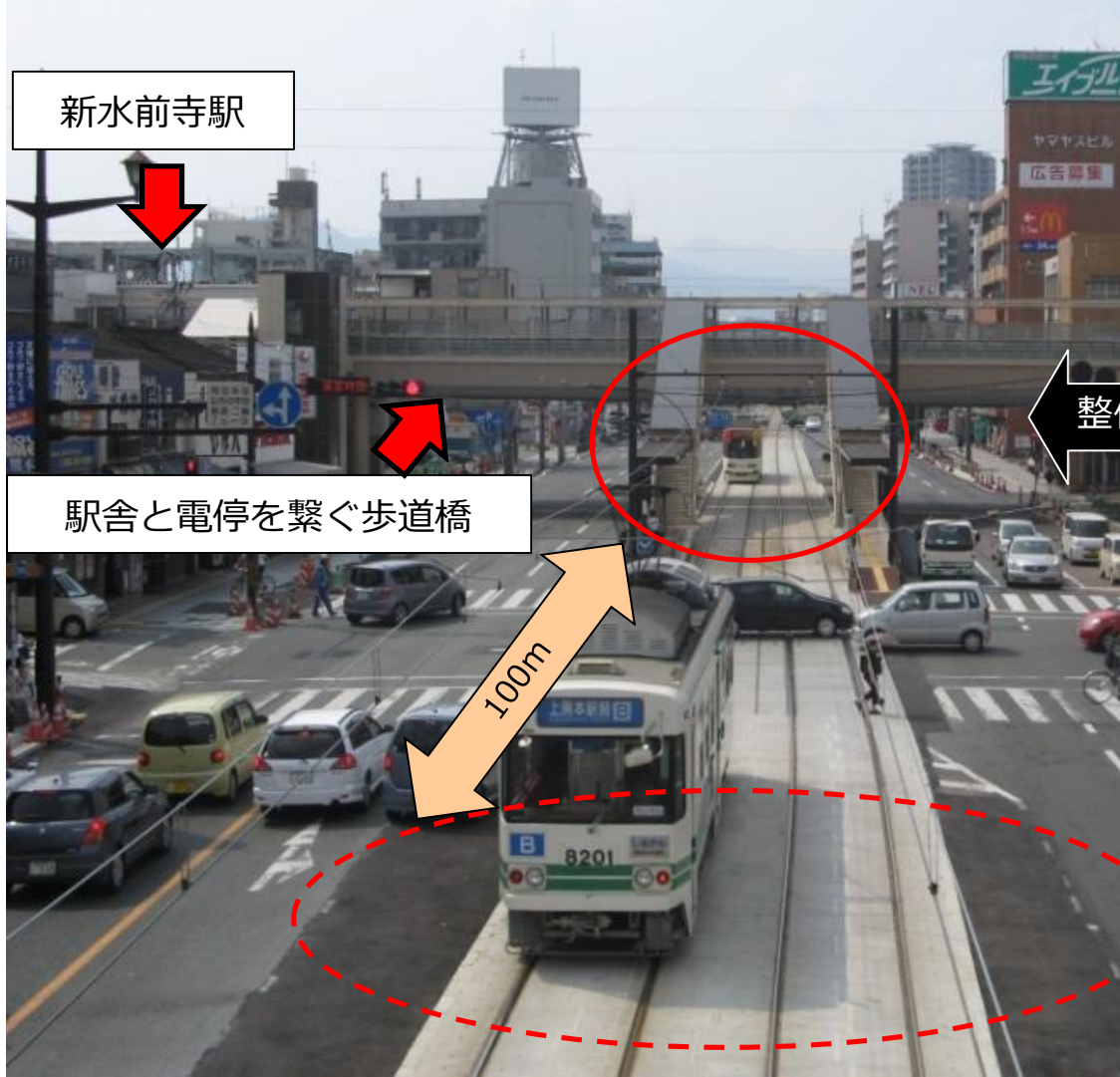
過去10年間の乗車人員の推移



2.熊本市電に関する取組

交通結節点改善 (H23年度供用開始)

○市電とJR線のアクセス向上を図るために、既存の電停を移設



▲JR新水前寺駅と電停の結節

低床車両の導入 (H9年運用開始)



▲新型車両0800型：通称COCORO (H26.10導入)

電停改良 (バリアフリー化) (H22年度整備開始)



▲ 田崎橋電停

サイドリザベーション (平成22年供用開始)



▲ 熊本駅前電停

路面電車優先信号システム (PTPS) (H23年運用開始)



◇熊本駅～辛島町 2.2km
 上熊本駅～辛島町 2.9km
 (うち0.3kmは重複区間)
 ※軌道全延長：12.1 km

市電口ケーションシステム (熊本市電ナビ) (H29年運用開始)

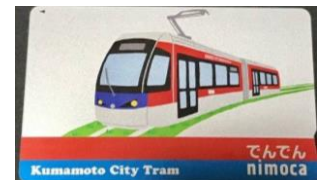


▲主要電停にモニターを設置

運行系統名称の変更と色分け (平成23年度運用開始)

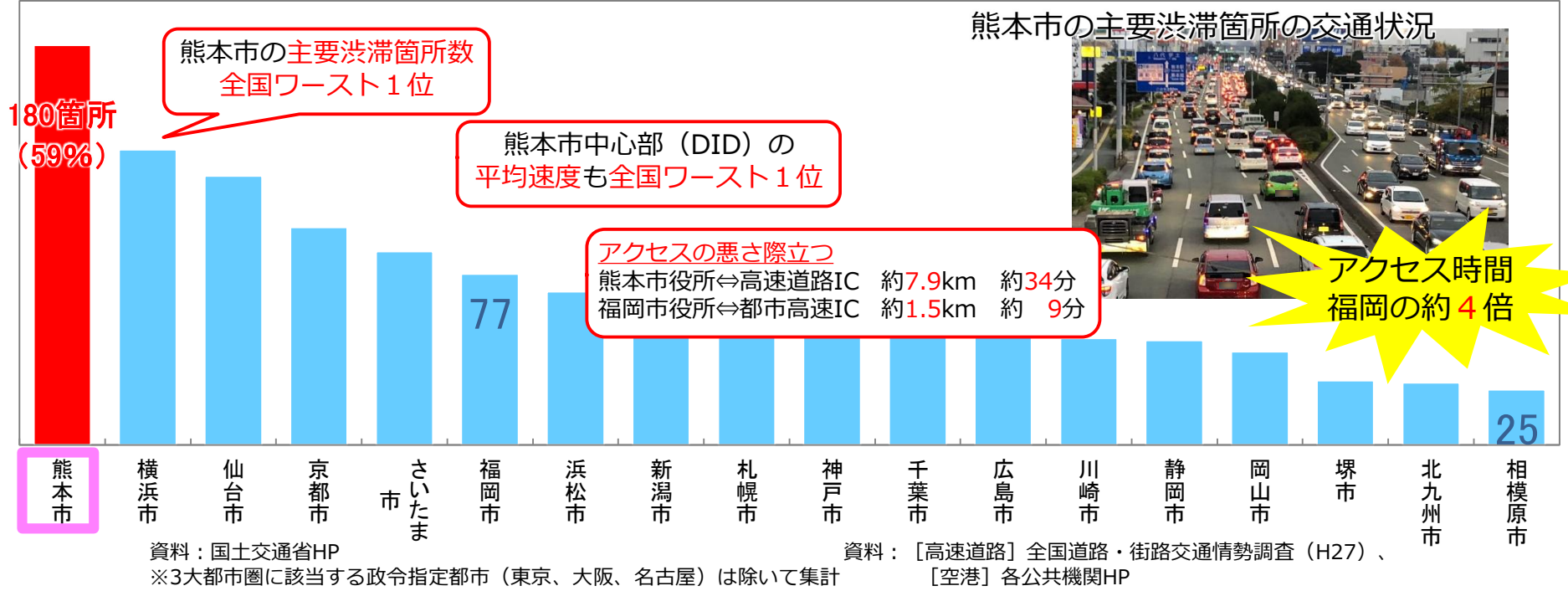


全国相互利用ICカードの導入 (平成26年導入開始)



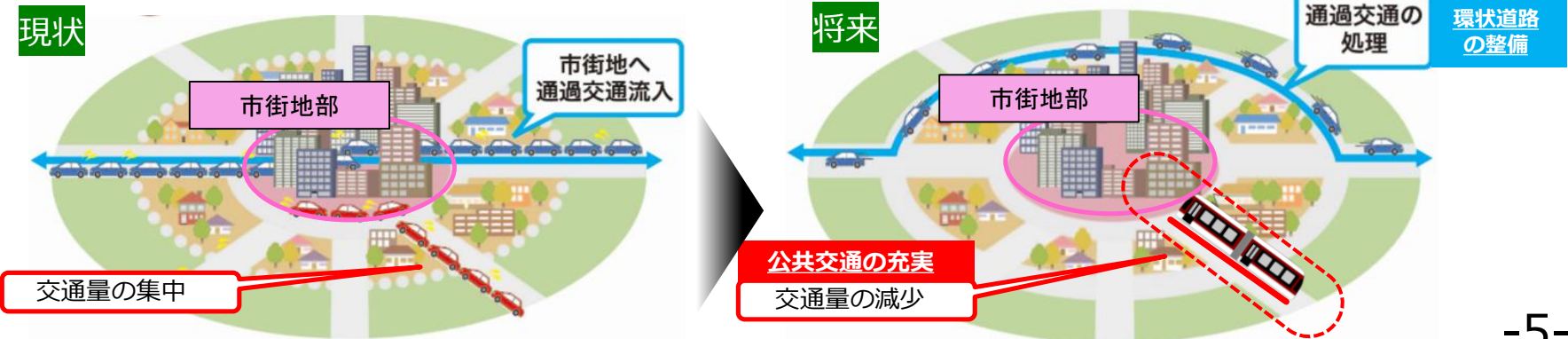
3. 公共交通の充実

○熊本市が抱える数多い道路交通の問題



○公共交通の充実と道路整備の一体的な取組

公共交通と自動車交通を効率的に組み合わせた都市交通体系の最適化を進めることにより、効率的に市街地部の渋滞を緩和することができる。



基幹公共交通（鉄道、市電、幹線バス）の強化

中心市街地と15の地域拠点をつなぐ8軸を「基幹公共交通軸」と位置づけ、輸送力、速達性、定時性の強化を図る。



▲超低床電車 熊本市交通局

公共交通空白・不便地域への対応

地域と協働で「コミュニティ交通」の導入を進め、公共交通の空白・不便地域の解消を目指す。



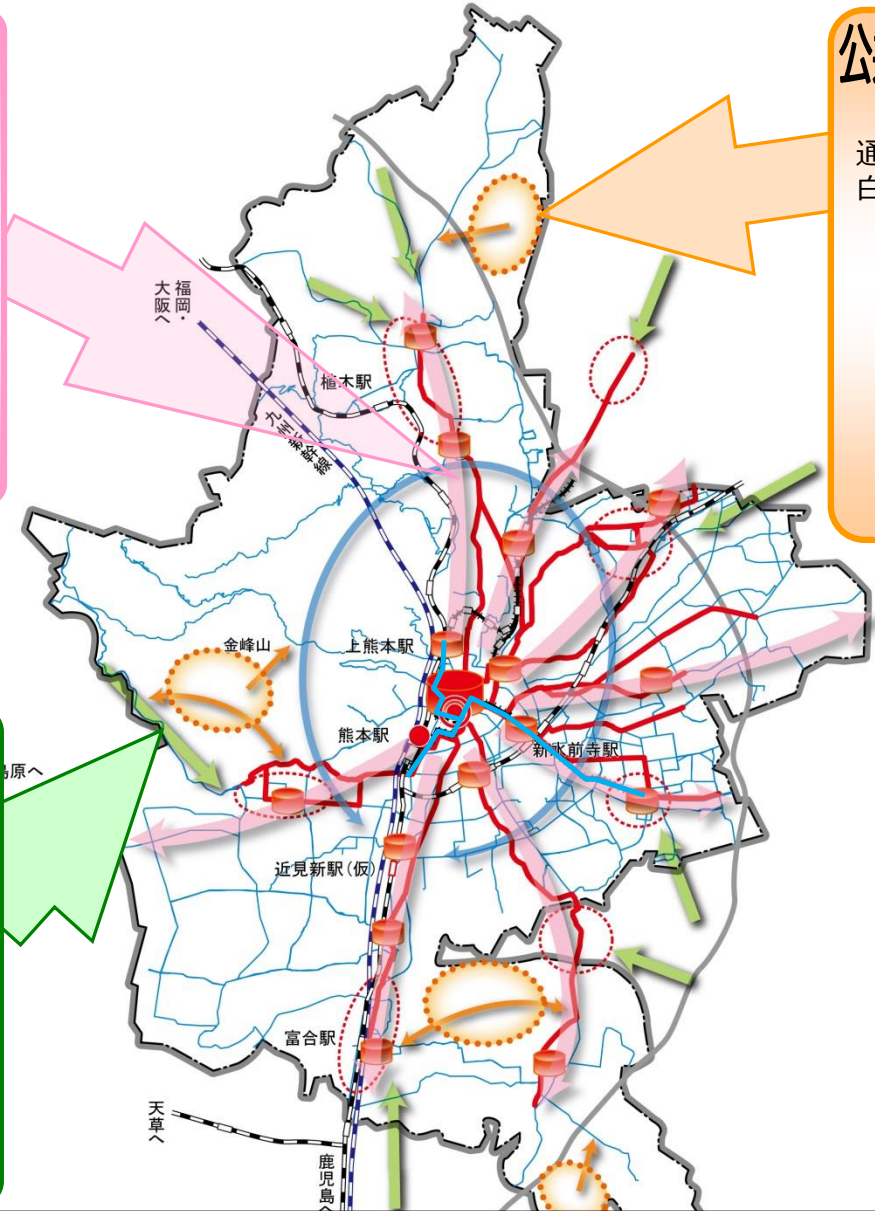
▲乗合タクシー

日常生活を支えるバス路線網の再編

基幹公共交通を補うバス路線網を再編し、わかりやすく効率的な運行体制を確立する。



▲バス専用レーン（国道3号）





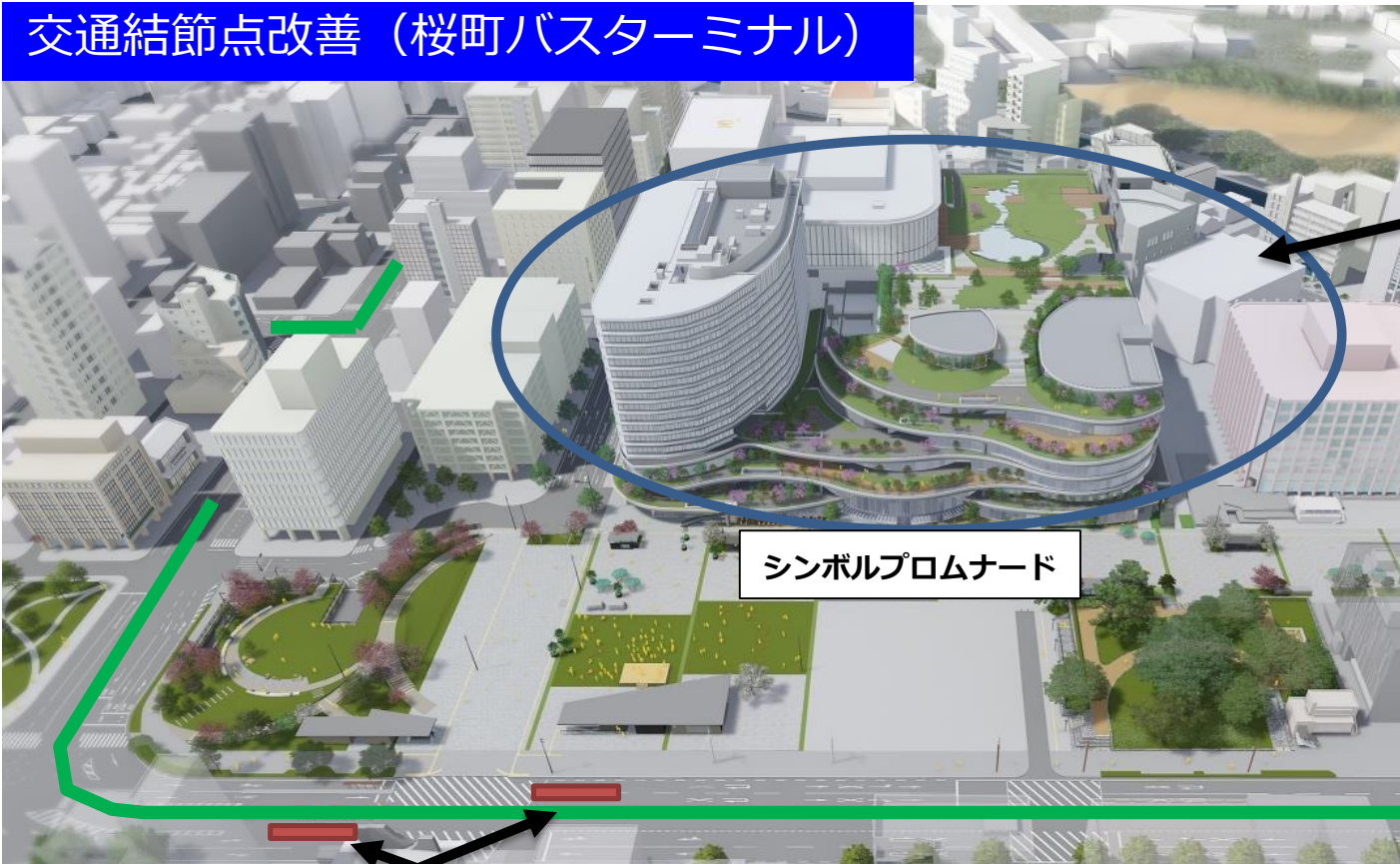
阿蘇くまもと空港

| 凡例 | |
|----|----------------|
| | 中心市街地 |
| | 地域拠点 |
| | 基幹公共交通軸 |
| | 幹線バス |
| | 環状線バス |
| | その他の路線バス等 |
| | 支線バス |
| | コミュニティバス |
| | メインターミナル交通センター |
| | サブターミナル熊本駅 |
| | 乗継ポイント |
| | 公共交通空白・不便地域 |
| | 新幹線 |
| | JR |
| | 熊本電鉄 |
| | 市電 |

基幹公共交通の強化の一つとして、市電の延伸を検討

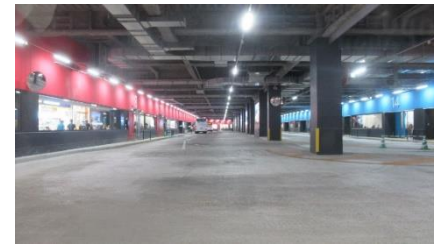
交通結節点改善（桜町バスターミナル）

| | |
|---|----|
| 凡例 | 軌道 |
|  | 電停 |
|  | |



桜町バスターミナル
(R1年9月供用開始)

- ・ターミナル面積：約1.5ha
- ・発着数：4,300台/日
- ・利用者数：40,000人/日
- ・乗降場数：29バース
- ・複合施設1Fに開設
- ・日本最大級



▲バスターミナル構内

シンボルプロムナード

辛島町電停改良（R3年度完了予定）



イメージ図

▲シンボルプロムナードとの連続性を考えたデザイン

県内バス・電車1日無料の日開催

- ・バス利用者数は通常の2～3倍
- ・交通渋滞も見られず

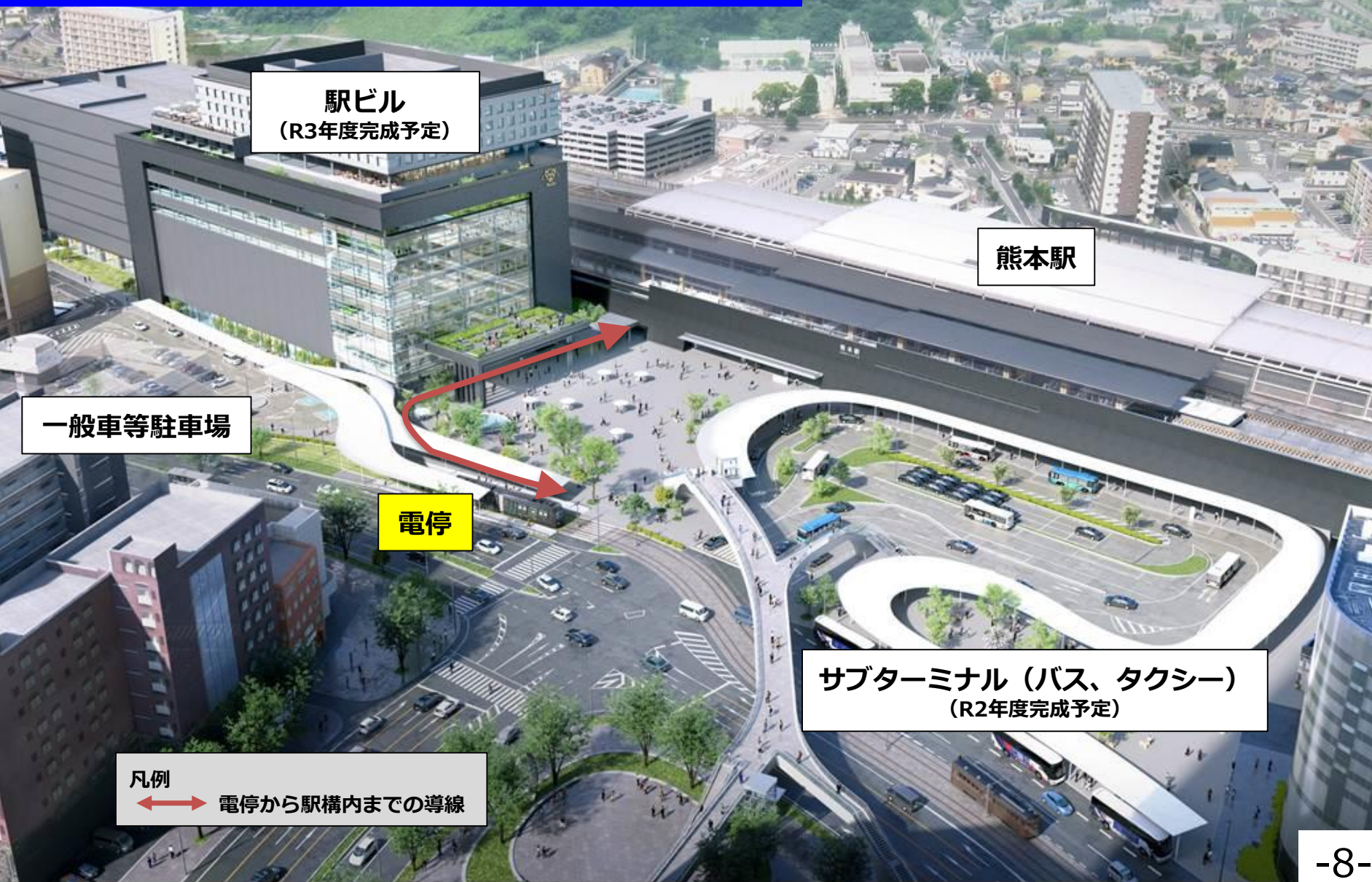


▲県内1日バス・電車無料



▲当日の乗降場

交通結節点改善（熊本駅前広場整備計画）



駅ビル
(R3年度完成予定)

熊本駅

一般車等駐車場

電停

サブターミナル (バス、タクシー)
(R2年度完成予定)

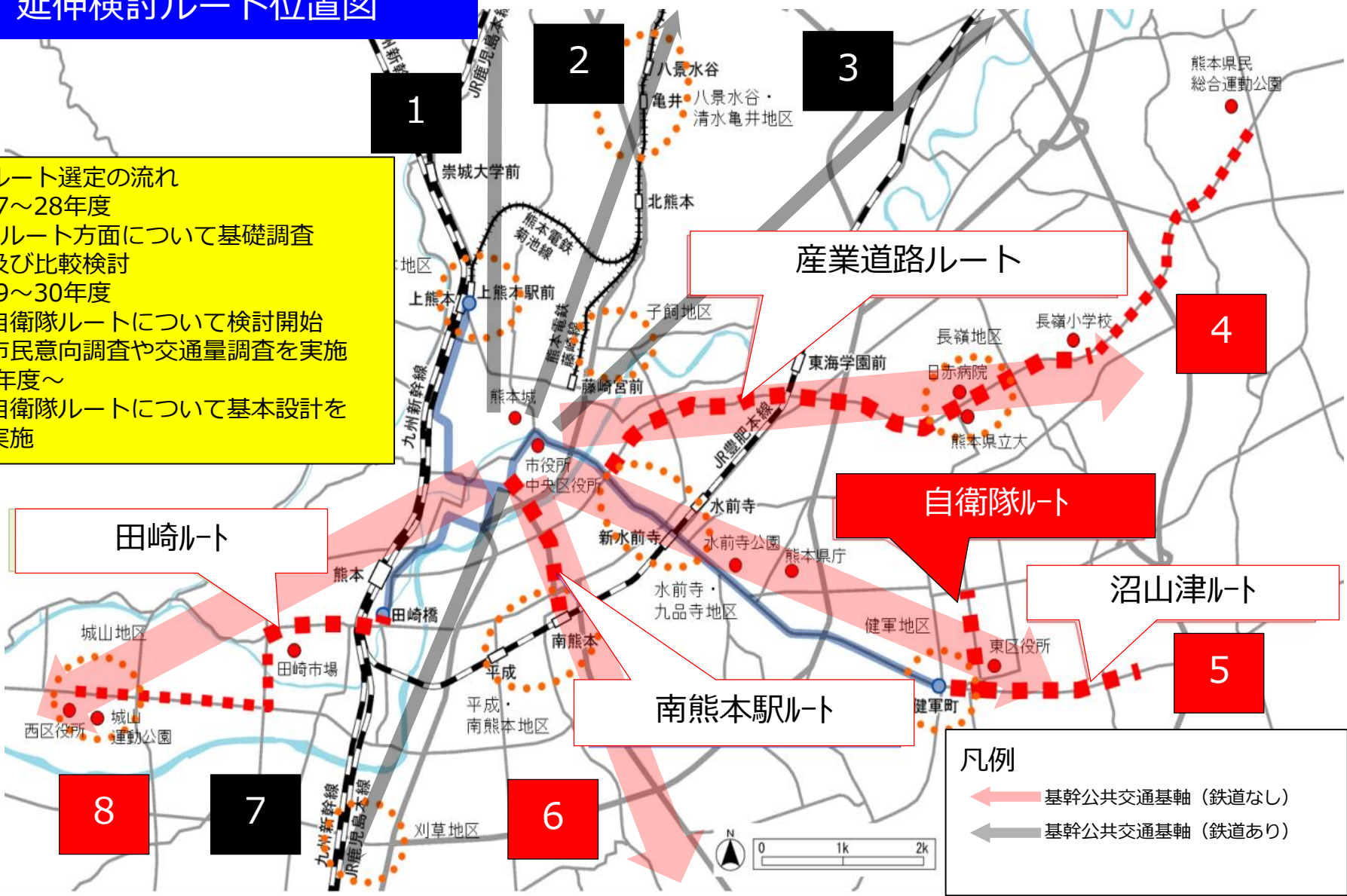
凡例
↔ 電停から駅構内までの導線

4.熊本市電延伸の検討

延伸検討ルート位置図

延伸ルート選定の流れ

- ・ H27～28年度
 - ： 5ルート方面について基礎調査及び比較検討
- ・ H29～30年度
 - ： 自衛隊ルートについて検討開始
 - ： 市民意向調査や交通量調査を実施
- ・ R1年度～
 - ： 自衛隊ルートについて基本設計を実施



自衛隊ルート概要

- 延 長：約1.5 km
- 軌 道：複線
- 利用者：約58万人
※その内、新規公共交通利用者：約45万人
- 費用便益：1.3～1.0



▲ 自衛隊ルート位置図

～市電延伸終点部～



◇熊本地震で被災した熊本市市民病院を移転再建
(R1年10月開院)

市電延伸の関連施策



▲ 関連施策イメージ

自衛隊ルート延伸の必要性について (アンケート調査結果:H29年度実施)

(1) 全市民対象の調査

必要だと思う：1,506件
(調査総数 2,014件)

約75%

(2) ルート沿線住民等対象の調査

必要だと思う：1,351件
(調査総数 1,751件)

約77%

ご清聴、ありがとうございました

